臺灣新民報 昭和七年十月十四日（金曜日） 第一万一千六百八十號 （一）
（第二版）（原満洲版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

# 臺灣新民報

## 北支の形勢重大危機を孕む

## 馮韓の間に諒解成り
## 近く反學良運動擴大

### 蔣介石事態重大と見て
### 學良に出兵を要求

【上海十二日發聯合】馮玉祥の北上は極々取り沙汰されてゐるが、駐復派と或る種の諒解あり、近く北支に反張學良運動擴大すべしと見るに至つたが、殊に彼の勢力制壓のため山東省境に剴時の部隊を進めてゐた蔣介石は事態重大と見て前三日前學良に山東出兵を要求し、協同して山東攻略を企圖してゐるわれ、北支の形勢重大危機を孕みつつ推移してゐる

## あすの三省委員會で
## 意見書は最後的決定

### 飜譯は二十日までに完成
### 反駁的附屬書は分擔起草

【奉天十二日發電通】リットン調査團一行の滿洲政府に對する意見は當地に駐在する滿洲政府の顧問、參事官等に於ても大體の内容を知つてゐるが、その後外務局の手に於て飜譯を急ぎつつあつたが、本文飜譯の作成を終つたので十四日午後六時から第三回目の會議に於て外務、總務兩次長より滿洲國政府の意見書を提出する筈である

### 聯合協議
### 滿洲國の態度

右外務省發に對する熊北支の交渉を行ひ、大體之を以て協後の決定を見る筈であつたが、俄つて意見書の内容は滿洲國の態度を決定するものであるから、滿洲國政府の總意見書は十三日までに完成を見る筈である、十四日本文飜譯の作成を終つたので十四日午後六時から第三回目の會議に於て外務、總務兩次長より滿洲國政府の總意見書を提出する筈である本文約三、四十頁の外にリットン調査團の認れる認識を根據とする滿洲國の認識を附屬書として附屬書

# 大關山事件の兇蕃タロム一族を認定

## ——臺東廳里壠支廳抗頭社の——

## けふ理蕃課が發表

屏東郡大關山駐在所部内の兇行蕃人を高雄、臺東兩州警務調連絡し調査進捗の結果臺東廳里壠支廳抗頭社タケシラホロマン、タロム一族に相違なきものと認定し得るに至れり

◇人間砲ラカハン社ラタセンセン一族右は昨年九月十七日射石を没収せられ深く根に含み居りし人間砲二挺所在不明なりしが今回タケシラホロマン、タロム一族より發見提出せり

◇一般蕃人は來る十一月三日天長節の佳辰を祝して國旗掲揚の儀行を行ふ筈なるが右は蕃人に國家觀念を涵養せしめんとするに外ならず

◇タロムは十一月下旬社に入りたるも小銃部組に對し押收銃返還せよとの命令あるや直ちに之を拒否し同志二名を率ゐて山中に逃走したり

◇タロムは九月七日男兒第二人誕生にて大關山方面に出獵したるも獲物なかりし

◇人間砲ラカハン社ラタセンセン一族右は昨年九月十七日射石を没収せられ深く根に含み居りし人間砲二挺所在不明なりしが今回タケシラホロマン、タロム一族より發見提出せ

# 續殘月譜

（16）

志乃田細司作
清水三重三畫

## 夜の客（二）

「ごう、相撲か芝居しややりやれやな」

「昼は今、日右衛門かすつかり機嫌んだので、安心して、晩に行つた。

「今日は、いい晩に、実なやうやないやうな」

「はい、さんな、お世さんの徳心のおかげやな」

「電報はよう云ひながら、大きな封筒を取上げた。

「お飯かロを出した。

「何かしら、一人でやつて、眠れられたら困らないやからな」

「いえ、何でもありやしません、ちよつと商談なんてものは、ほんの口実なんですよ、そのやり取りしたとなると、眠れがどうと出る」

「お父さんが病気、そこで真一郎が呼ばれては困りやしないかと思つてもんで、食はしてさへくれたら、それでよいと」

「さうですかい」

「時に」

大番頭をはらう、と振る番頭に、お妙が声を掛めた。

「あの、お前に気に入つたのがゝ」

「気に入る」

不意の問なをして番頭は訊いた。

「ほゝ、お前もなあ、もう年頃か年頃やで——」

「冷はん——」

と頭いた番頭が、につこり笑つて、

「お世さん、既婚ひしてくれては困るぜ」

「アハつて、お前」

「いえはは、あのな世」

と番頭

「嘘やせぜ、脱キ、そら、天神様をんと拝んで来たつて駄目つてやう、つまり、あの脱斗でさあいいお婿さんが得られやうはずはないお妙斗世、嫁つたつて考えも違つてさ」

「まあ、その脱斗ゃゝつてお三のだけど、女やせぜ、人間ちやぜ」

「だから、お母さん、御馳走の脱斗やりやれやな」

「昼は今、日右衛門かすつかり機嫌んだので、安心して、晩に行つた。

「今日は、いい晩に、実なやうやないやうな」

「はい、さんな、お世さんの徳心のおかげやな」

電報はよう云ひながら、大きな封筒を取上げた。お妙が口を出した。

「何かしら、一人でやつて、眠れられたら困らないやからな」

「いえ、何でもありやしません、ちよつと商談なんてものは、ほんの口実なんですよ、そのやり取りしたとなると、眠れがどうと出る」

「お父さんが病気、そこで真一郎が呼ばれては困りやしないかと思つてもんで、食はしてさへくれたら、それでよいと」

「さうですかい」

「時に」

大番頭をはらう、と振る番頭に、お妙が声を掛めた。

「あの、お前に気に入つたのがゝ」

「気に入る」

不意の問なをして番頭は訊いた。

「ほゝ、お前もなあ、もう年頃か年頃やで——」

「冷はん——」

と頭いた番頭が、につこり笑つて、

「お世さん、既婚ひしてくれては困るぜ」

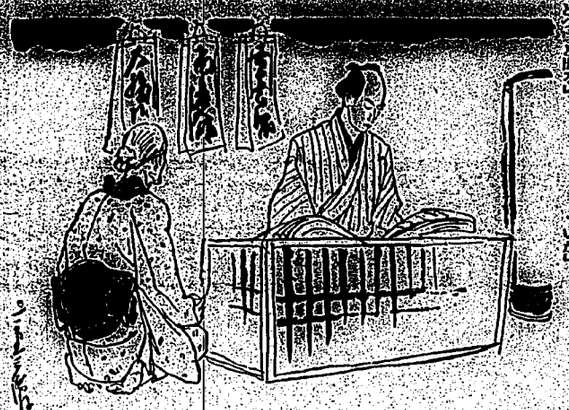
「アハつて、お前」

「いえはは、あのな世」

と番頭

「嘘やせぜ、脱キ、そら、天神様をんと拝んで来たつて駄目つてやう、つまり、あの脱斗でさあいいお婿さんが得られやうはずはないお妙斗世、嫁つたつて考えも違つてさ」

「まあ、その脱斗ゃゝつてお三のだけど、女やせぜ、人間ちやぜ」



## 新興キネマ提供不二映畫作
# 熊の出る開墾地 全十巻
（芳乃組の次回特別公開）

原作……佐々木俊郎
脚色……村上謙三郎
監督……兒玉一郎
——キャスト——
阿木百合……鈴木傳明
その妻……英百合子
千代枝……池上貞代子
地主……山本冬郷
佐平……渡邊邑
綾吉……吉谷久雄
郵便配達……鯉明
人夫……時男
作男……山田一郎
同……月田一郎
忠三……伊藤晴世
農民の妻……小百合節子
駐在……平田俊雄
村人……中村龍一郎
……鳩山節子
お巡り……

【梗概】日露戦後、野付牛（現在の北見）附近に開墾の鍬を入れた、新興田村の農民たちは、熊の出没に悩まされながらも、その開墾地を拡げつゝあつた。阿木百合は何年かの苦心の末、漸く自分の土地を持つことが出来たが、それは熊の出る開墾地であつた。

それから五年目に移つた。この物語も今では大分田や畑に変つてゐた。ある日、百合は地主の策謀のために鉄砲で射殺されてゐた。そして跡の土地は熊の出没地帯は依然として新しい土地に移住して来る者が絶えなかつた。

×　×

新刊紹介

◇日本経済年報　第九輯（十月號）（東京日本評論社）

世界経済研究所編輯　東京神田三崎町三の八四

◇日本経済年報　第九輯（十月號）（東京日本評論社）

世界経済研究所編輯　東京神田三崎町三の八四

最近著の新刊

（十月號）（十月號）（十月號）

# 漢文臺灣日日新報

## 銀行劫盜案擴大
### 短銃既收廿二挺只餘二 彈丸亦收六千發羽黨續擒

十二日東京電。銀行劫盜今泉榮一。中村統一。西城猛大。當日檢舉之際。突出短銃。發射脫逃。其後中村統一。及今泉榮一。相繼自殺。西城猛大。亦於十八日自殺。五千發彈丸。及多數變造印章。檢舉數名。與此案有關係者。所餘短銃。更就主犯今泉榮一。十二日午後九時。服毒自殺。照此所供出處。定期搜索。同市內各町。勸募委員。除與參加。外。餘悉辭退。

## 赤黨有最高指導部
### 特高課正力查

十三日東京電。共產黨。既却大森之銀行。業經突出攻擊。警視廳。神經極爲尖利。故搜索本部。頗爲檢舉。綜各過去一年間爭議。警視廳在關部。續次暗躍。即坐第二次共產黨事件入獄。昭和四年夏出獄後。逃亡之野坂參三（四二）。暨同六年三月檢舉中逃走之宮本顯治（三八）。及三一五事件直後。檢舉中逃走之三田村四郎（三八）等。潛後猶有煽動者。合併檢舉中逃走之第三次共產黨員七人。與各種非合法團體組織分子。組形成有力最高指導部。警視廳特高課。正力探查中。

## 圓山新橋
### 初渡式
安來廿七日

交通局道路課所課之新圓山新橋。去三個年間工事中之圓山新橋。至去十一日來北。見學州立農試驗場。中研農業部。士林園藝試驗場。農業傳習所。最後至北投公共浴場。開洗塵會。十三日見學臺北市內。及淡水郡石門庄業主江文通氏。亦于同十三日。引率個人並家族。先赴淡水血清製造所見學。次觀農業傳習所。臺北州種畜場。中研農業部。新莊養豚組。士林園藝試驗場。最後至北市內。

## 特高刑事部總動員
### 望市內五處收得證據品

共產黨事件。自計畫既終後。警視廳特高課。正力探查中。決議川柯非常手段。赤非得已。迄今所不知之武器。據入保管部。亦已判明。警視廳。去十二日午前二時。於市內五處。收有力證據品。即一除銀座川區大井町一八九七土木請負業小坂彦太郎（二二）處。逮捕小坂。收短銃十八挺。彈丸五千發。小坂爲劫盜主犯今泉親友。即共產黨員。武器入部員。以已毛爲武器保管所。短銃係今泉自米國帶回。當伊藤購入。此外移管除二除。鵠新橋附近某一組屋五階二室。收六發短銃。及彈丸二七八。此號札幌廢車。今泉等。不知何時盜之。以爲不時之用等。又一除銀座鵠巢町西巢鴨三七三川合小次郎（四）。業非物品供給業者。其他市內二處。檢舉關係者四名。女二名云。

## 查知關東資金本部
### 及關西武器購入廣告主

警視總監特當部。去十日。嚴究主犯今泉榮一外。中村西城。鹽澤。至於深更。即究資金問題。知係共產黨資金局。關東地方總本部。及關西地方武器購入處。昨朝。特當部。大舉移入阪府警察部。與大阪市外豐中町新免二二六久保處。警視廳。十一日午後八時頃。赤裝警官本部新橋驛前鐵道館二階二百二號室山田重治特許事務所。檢舉高橋辯理士外一事務員。重要書類。悉已燒却。黑幕山辯理士。既已逃亡。大阪武器購入本部。關係者亦逃亡。只餘兒短銃數挺。警視廳。又留銀行內部。資金供給嫌疑者川崎第百大森支店收納係脇坂九平（二六）。究之。知識中央部山本某之輪郭。十一日午後十一時。開首腦部會議。審議今後搜查方針。一面刑事三名。乘午後十二時發東京行列車。急往青森。逮捕山本云。

## 銀行出納係
### 潛通赤黨

警視總監特當部。去十日。嚴究主犯今泉榮一外。中村西城。鹽澤。至於深更。即究資金問題。知係共產黨資金局。關東地方總本部。及關西地方武器購入處。昨朝。特當部。大舉移入阪府警察部。與大阪市外豐中町新免二二六久保處。警視廳。十一日午後八時頃。赤裝警官本部新橋驛前鐵道館二階二百二號室山田重治特許事務所。檢舉高橋辯理士外一事務員。重要書類。悉已燒却。黑幕山辯理士。既已逃亡。大阪武器購入本部。關係者亦逃亡。只餘兒短銃數挺。警視廳。又留銀行內部。資金供給嫌疑者川崎第百大森支店收納係脇坂九平（二六）。究之。知識中央部山本某之輪郭。十一日午後十一時。開首腦部會議。審議今後搜查方針。一面刑事三名。乘午後十二時發東京行列車。急往青森。逮捕山本云。

調查會。大日本米穀會。廿一日頃。欲開調查研究會。招聘學者十餘名。公平討議。爲此米穀會幹事。在東京丸之內工業俱樂部樓上。開一切。統計及參考資料。已一段落。與學者交涉亦已一段落。

## 米專賣
### 調查研究
四五日內決定

十一日大阪本社特電。全島米穀取引所位取引員組合。前於聯合大會。反對米專賣案。一方名古屋米穀大會。大銀行內。亦有其人。前臨時所係。今泉爲犯行實與便宜三三五。

## 政府對聯盟調查團報告書
### 外務急草意見本文已完
### 三省委員會明日決定

十三日東京電。律頓報告書。帝國政府意見書。是後外務次官概要作完。訂十四日午後六時起。在外務次官邸。開外務。海陸軍三省起草委員聯合協議會。將外務省案。討論修正。大體且以是。最後決定。該意見書本文。外務當局。合即執筆翻譯。大體至二十日完成。又英見書。記述帝國政府總括意見。本文約三四十頁。此外又有局文。附報告書之謹處。詳細辯駁。至本月末。豫定完成云。

## 吉野村農民陳情
### 傳有一部策動者
### 廳當局執不變方針

既報九日出席之吉野村陳二十年。延長爲三十年之歷少森額。得以完全救濟。是故償還期之延長。爲不可能。此種事情。在花蓮港當局。非不之知。現正爲救濟方策。於既定方針。毫無變更之要云々。

## 稅務會議
### 十二日起四日

全島稅務會議。如所既報。自十二日起四日間。在府會議室開議。第一日因府會局長出張。乃變更日程。十三日協議。諮問內務局所管事項。小濱局長就議長席。宣告開會。手塚總務長官訓辭。既終。聽取諮問。第四項州特別稅設定撤記。定可否意見。午後討議內務局所管協議事項。十二日財務局長就議長。

## 竹山
### 警官異動

竹山郡警察課。今回發表巡查級異動如左。

▲竹山郡守天滋出所直轄保護氏。轉尖平天滋出所內勤有川氏。轉竹子頂滋出所小山田氏。轉直轄。新任森氏。命爲直轄。教練道講師。

## 建記念碑
### 明治三十二年。爲討伐潛伏于大水堀樓湖山之匪首楊賜。及其徒眾百除名。建碑紀念。當時殉職之警官三名。及勤務清水溝派出所。

頑梁駐在所。巡查。故由所轄北署。警察協會員三十數名。頭飾者殺。其費用皆由警協會員及有志者醵出。此後事業。已定撤去。

## 臺南商品館
### 調查市中商品
### 以備諮詢

臺南商品陳列館。因過來各地商家。恒來商況諮詢之商品。或貿易上重要諸事。如市之商家。倘與該館。缺於聯絡。非特來能臨機應答。且失商機。故該館爲欲明瞭各商舖之銷售貨品。或獨得製品。以備介紹於內地或島內各處。擴銷路。是以。於去十二日。兩達市內重要商舖。調查商工業貨件。及其營業概要。至本月末。豫定完成云。

## 臺北州聯吟
### 廿四日開大會於頭圍

臺北州聯吟詩社。人耳目之第一回春季大會。定廿四日。於頭圍公學校開催。題目。海防。詩數。一人三首。選者。臺北州下。詩人十數名。聘請之。當日午前十時。開始。午後一時。開表彰會。次開詩會。午後四時。閉會。

## 臺北愛市會
### 創立講演

臺北市近。成町六丁目。羅漢士岡野孝太郎氏外數名。發起。創設臺北市愛市會。去十日。

## 第一回春畫事件
### 受處罰者九名
### 第二事件送檢察

亦四五名。不日起訴。要嚴重處罰云々。

## 斗六街創設
### 愛憐會
### 十二日發會式

斗六街第一保今正英志氏。與轄當局。爲之街方面委員。民保護目的。創設愛憐會。月十二日午後七時。在舊氏宅上。發會式。此回之會。乃對于不得受方面委員。自助或會。救助之貧民。施行救護。其費用皆由會員及有志者醵出。即日。

## 臺南運河
### 發見溺屍
### 爲敗啫自殺

去十二朝六時頃。臺南市田町運輸會社支店前運河裡。忽有島人溺屍一具浮起。被通行人發見。急報新町派出所。所員以電話轉達于臺南署。同九時頃。有堀龍警部補。偕署佳警察前往現場檢視。判明自殺者。原籍屏東。現寄留臺南市永樂町三丁目郭富川。年三十。民傷害前科犯。性好賭。屢被其父兄叱。者番更賭敗。至於自殺。

## 臺南市檢舉
### 不正衡器
### 三百七十八件

臺南市各。派出所員。並受警署當局指命。及得度量衡器檢查員應援。向全市一齊檢舉。不正衡器。至去十二日。據各派出所報告。被檢舉者。計三百三十名。三百七十八件。內當殺業者百八十八。修繕百三十八。污染不堪者五十二件云。

## 豐原視察團
### 農事見學

臺中州豐原郡下農事視察團。一行四十二名。山郡係員引率。于十三日到北市。直往宣揚。見學業佃事業及一般農事狀況。漁池其他。十四日見學農業部。士林園藝試驗場。農業傳習所。州立農事試驗場其他。

## 再變名渡臺
### 逐令歸閩

閩人黃鴻攸。年三十六。前於台文部廳。宣街開設造華英西裝店。因相與該地之農民。組合員往來。且爲種々策動。是以警察當局。爲治安。乃於昭和五年十二月。以華人勞働者管束規則。強命歸華。黃自歸後。到處流落無所底生。遂於客月一日變名爲黃中宏渡臺。由當線上陸。潛踪臺南。竟不自安分。仍以空想幻噴。迷惑愚民。者番爲臺南警署偵知。召之到署。嚴重說諭後。再命台其歸華。即配上十二日高雄解纜之地厚丸。

## 保險外交員作弊
### 以替身受身體檢查
### 爲被保險者自殺馬脚畢露

本年六月初旬。臺南新樓醫。且罹沈痾。而竟有五醫院附近鐵道。有市內臺千間之生命保險。故世人頗深注視。而蛾絲馬跡。當局亦疑其中或有犯罪之消息。

## 赤黨有最高指導部
### 特高課正力查

十三日東京電。共產黨。既却大森之銀行。業經突出攻擊。警視廳。神經極爲尖利。故搜索本部。頗爲檢舉。綜各過去一年間爭議。警視廳在關部。續次暗躍。即坐第二次共產黨事件入獄。昭和四年夏出獄後。逃亡之野坂參三（四二）。暨同六年三月檢舉中逃走之宮本顯治（三八）。及三一五事件直後。檢舉中逃走之第三次共產黨員七人。與各種非合法團體組織分子。組形成有力最高指導部。警視廳特高課。正力探查中。

## 圓山新橋
### 初渡式
安來廿七日

交通局道路課所課之新圓山新橋。去三個年間工事中之圓山新橋。至去十一日來北。見學州立農試驗場。中研農業部。士林園藝試驗場。農業傳習所。最後至北投公共浴場。開洗塵會。十三日見學臺北市內。及淡水郡石門庄業主江文通氏。亦于同十三日。引率個人並家族。先赴淡水血清製造所見學。次觀農業傳習所。臺北州種畜場。中研農業部。新莊養豚組。士林園藝試驗場。農業傳習所。最後至北市內。

## 特高刑事部總動員
### 望市內五處收得證據品

共產黨事件。自計畫既終後。警視廳特高課。正力探查中。決議川柯非常手段。赤非得已。迄今所不知之武器。據入保管部。亦已判明。警視廳。去十二日午前二時。於市內五處。收有力證據品。即一除銀座川區大井町一八九七土木請負業小坂彦太郎（二二）處。逮捕小坂。收短銃十八挺。彈丸五千發。小坂爲劫盜主犯今泉親友。即共產黨員。武器入部員。以已毛爲武器保管所。短銃係今泉自米國帶回。當伊藤購入。此外移管除二除。鵠新橋附近某一組屋五階二室。收六發短銃。及彈丸二七八。此號札幌廢車。今泉等。不知何時盜之。以爲不時之用等。又一除銀座鵠巢町西巢鴨三七三川合小次郎（四）。業非物品供給業者。其他市內二處。檢舉關係者四名。女二名云。

## 查知關東資金本部
### 及關西武器購入廣告主

警視總監特當部。去十日。嚴究主犯今泉榮一外。中村西城。鹽澤。至於深更。即究資金問題。知係共產黨資金局。關東地方總本部。及關西地方武器購入處。昨朝。特當部。大舉移入阪府警察部。與大阪市外豐中町新免二二六久保處。警視廳。十一日午後八時頃。赤裝警官本部新橋驛前鐵道館二階二百二號室山田重治特許事務所。檢舉高橋辯理士外一事務員。重要書類。悉已燒却。黑幕山辯理士。既已逃亡。大阪武器購入本部。關係者亦逃亡。只餘兒短銃數挺。警視廳。又留銀行內部。資金供給嫌疑者川崎第百大森支店收納係脇坂九平（二六）。究之。知識中央部山本某之輪郭。十一日午後十一時。開首腦部會議。審議今後搜查方針。一面刑事三名。乘午後十二時發東京行列車。急往青森。逮捕山本云。

## 銀行出納係
### 潛通赤黨

川崎第百銀行大森支店出納係脇坂九平。以共產黨潛通之嫌疑。爲警視廳究後。知我金融界中輿論大譁。即於所係。今泉爲犯行實與便宜三三五。

## 米專賣
### 調查研究
四五日內決定

十一日大阪本社特電。全島米穀取引所位取引員組合。前於聯合大會。反對米專賣案。一方名古屋米穀大會。大銀行內。亦有其人。前臨時所係。今泉爲犯行實與便宜三三五。

## 政府對聯盟調查團報告書
### 外務急草意見本文已完
### 三省委員會明日決定

十三日東京電。律頓報告書。帝國政府意見書。是後外務當局。急爲起草。本月末。豫定完成云。

## 吉野村農民陳情
### 傳有一部策動者
### 廳當局執不變方針

既報九日出席之吉野村陳二十年。延長爲三十年之歷少森額。得以完全救濟。是故償還期之延長。爲不可能。此種事情。在花蓮港當局。非不之知。現正爲救濟方策。於既定方針。毫無變更之要云々。

## 稅務會議
### 十二日起四日

全島稅務會議。如所既報。自十二日起四日間。在府會議室開議。第一日因府會局長出張。乃變更日程。十三日協議。諮問內務局所管事項。小濱局長就議長席。宣告開會。手塚總務長官訓辭。既終。聽取諮問。第四項州特別稅設定撤記。定可否意見。午後討議內務局所管協議事項。十二日財務局長就議長。

## 臺南商品館
### 調查市中商品
### 以備諮詢

臺南商品陳列館。因過來各地商家。恒來商況諮詢之商品。或貿易上重要諸事。如市之商家。倘與該館。缺於聯絡。非特來能臨機應答。且失商機。故該館爲欲明瞭各商舖之銷售貨品。或獨得製品。以備介紹於內地或島內各處。擴銷路。是以。於去十二日。兩達市內重要商舖。調查商工業貨件。及其營業概要。至本月末。豫定完成云。

## 臺北州聯吟
### 廿四日開大會於頭圍

陽於詩壇

# 臺灣日新報

本日夕刊共二十頁

# 婦人病皮膚病神經痛に

六一〇ハップ

家庭温泉・撒布良薬　動脈硬化
胃腸病　中風
神経痛　冷え性
しもやけ　疾症病

榮光之上無

保温が大切

（新聞名記入見本請求歓迎）

# 婦人畫報

帝國漢學普及會

# 主婦之友社

東京神田駿河臺（振替一八〇番）

# 第一附録　新型毛絲編物百廿種

全部四六判四倍大のカード式にて最高級の美術印刷です。配色も編目も實物通りの色と大さで全部を發表。これさへ見れば百廿種の新型をどれでも自由に編める獨習式で大好評。

一　毛絲編物界を代表する廿二名の先生方が一年間の苦心考案の結晶!!!
二　今年流行の新型を代表する素晴らしい編物ばかり二百餘種を發表!!!!!
三　赤ちやん物から男女兒物や婦人女學生物や男子物まで全部實物通りの色と大さで發表した空前の編物集!!!!!!
四　配色や編目まで全部實物通りの色と大さで發表した空前の編物集!!!!!!
五　第一附録だけでも優に三四圓の價値があるといふ大奉仕的の出版!!!!!!
六　第二附録は毛絲編物の手ほどき六十餘種を親切な別冊として贈呈!!!!

二大附録つきにて六十錢（送料十錢）

# 二日發賣

# 臺灣の經濟物語

# 臺灣の經濟物語

●受驗準備　ノーシン　●出來

（江戸が第一である◆頭がボンヤリしたりクシヤクシヤしたりして駄目の過ぎぬ時にはすぐ）

（タッタ一服のんで一夜のうちに全身の倦怠から鼻水風邪の初期まで治すノーシンは本當に利き目が早い）

# DODGE 4

DODGE BROTHERS

顯著な特徴を多數具備した

ダッヂフォース

新四氣筒車

フローチング　パワー
フリー　ホイーリング

二重低床橋梁式車架
常時噛合無音齒車鎖式傳動機
其姿式自動的聯軸機
カウンターウエイト付曲柄軸
四輪成全鋼鈑製車體　全壓迫式制動法
クラッチディスク衝動緩和裝置
ホイール　ベース　百十三吋
流線美を帶びた端麗な車體

DM-82

代理店
合資會社　橋口商店
電話北二四七三番　二八〇番
前門側京町

# 主婦之友社

東京神田駿河臺（振替一八〇番）

# 婦人畫報

帝國漢學普及會

# 婦人病皮膚病神經痛に

六一〇ハップ

家庭温泉・撒布良薬　動脈硬化
胃腸病　中風
神経痛　冷え性
しもやけ　疾症病

榮光之上無

保温が大切

（新聞名記入見本請求歓迎）

# 臺灣日新報

本日夕刊共二十頁

◎第四三回新聞紙法適用許可　◎第二種郵便物認可　◎大正十一年七月十日第三種郵便物認可

# 臺灣の經濟物語

# 臺灣の經濟物語

●受驗準備　ノーシン　●出來

（江戸が第一である◆頭がボンヤリしたりクシヤクシヤしたりして駄目の過ぎぬ時にはすぐ）

（タッタ一服のんで一夜のうちに全身の倦怠から鼻水風邪の初期まで治すノーシンは本當に利き目が早い）

# 髮洗ひ

ひとすぢの髮の毛も

# 花王シャンプー

抜けるのは不快なものです
まして秋は脱毛の季節ですから純良なシャンプーで度々の洗髪をおすゝめ致します

花王シャンプーは頭の地肌からきれいに洗へて洗ひ上のする科學的配劑に成功した理想的洗髪料です

美しい小瓶入
一個　五錢
（六個入　三十錢）

東京・花王石鹸本舗

S29

# 外務省で作製の意見書につき打合せ
## 意見書は聯盟加入國に配布
## 反駁的附屬書は聯盟に明示するため
### きのふの三省委員會

【東京十三日發電通】リットン報告書に對する意見書起草に關する外務陸軍海軍三省委員會は十三日午後六時半より外務次官邸に開會、外務省で作製せる意見書本文並に附屬書起草に關し種々打合せをなし午後十時散會した

【東京十三日發電通】リットン報告書に對する帝國政府の意見書は十三日午後六時半より外務次官邸に開會、外務省で作製せる意見書本文並に附屬書起草に關し種々打合せをなし午後十時散會した

## 我意見書の大要

### 我政府の行動の公正なるを
### 世界に明示するため

【東京十三日發電通】リットン報告書に對する帝國政府の意見書は十三日午後六時半より外務次官邸に開會、外務省で作製せる意見書本文並に附屬書起草に關し種々打合せをなし午後十時散會した

# 臺中市民渴望の烏溪架橋工事

州產業道路計畫に編入

## 八、九兩年度に實施

【臺中電話】縣廳當局が調査して居る烏溪架橋問題は、其の後調査が完成して、愈よ實現の運びに至つたが、架橋費は總額十萬圓の豫定で、其の内縣費支出は僅に三萬圓に過ぎないので、縣當局としては、其の一部を州費に仰ぐ外はないと考へ、其の筋へ交渉中であつたが、今回州當局の方針が確立し、八、九兩年度に於て實施することに決定した、尚ほ架橋の位置は、現在の渡船場より約二百間上流の地點に架設する豫定である

# 虎尾溪畔千七百甲の貸下方法を協議

## 十二日臺南州廳に於て

【臺南電話】管内虎尾及び其の内半六の開墾地は、十三日朝臺南州内務部長を初め、その關係官が、臺南州に貸下げ實施方法を協議するため、虎尾郡役所に集合することゝなつたが、其の協議會は、十二日岡山郡に開催の豫定なりしも、同地方が出水の爲め、急遽變更されたものである

# 前景氣旺んな嘉義競馬會

## 出場馬も決定す

【嘉義電話】嘉義競馬會は十六、十七兩日、嘉義競馬場に於て開催の豫定なるが、出場馬は、甲號競走、キク、姿路、鼓山、對山、都、吉野山、ながら、はじめ、雨鵬、雲嶺、こうしふ、ウエレス、右に對し二十歳の新馬の競走あり、鷹を競ふ豫定なるが、とばやく、七星、乙姫、あけら、ふじ、新鶴、長崎、三ささなみ、嘉義號、雲嶺、

# 高雄州の要求豫算

## 二百九十萬圓に達す

### 完膚なきまで大斧鉞を加ふ

【高雄電話】高雄州の各課要求豫算は、十六日午前九時から夜十時迄、十七日は午後五時迄であるが、同日正午から午後五時迄は、知事官舍に於て、課長の説明を聞く豫定なるが、各課とも、其の大部分を占めてゐるが有要求豫算は、其の後の調査の結果大幅に減額される模様である

# 南門校長後任に鈴木市視學が

【臺南電話】臺南市南門小學校長の後任については、種々の下馬評があつたが、十三日臺南州教育部長、鈴木市視學に決定し、同日附を以つて發令された

# 新化神社秋祭り

## 二十一日

【臺南電話】新化神社の秋季大祭は、來る二十一日、新化市街の

# 花蓮港街の明年度豫算

## 十萬圓臺突破か

【花蓮港電話】花蓮港街では、明年度の豫算編成に着手してゐるが、其の豫算額は、十萬圓臺を突破するものと見られてゐる

# 阿緱神社祭に家禽市

【屏東電話】阿緱神社祭典委員會は十三日それ〳〵委員が會議を決め、同日午前に於て、屏東市内に於て家禽市を開催する豫定なるが、其の賞品は、一等金拾圓也、二等金五圓也、三等金參圓也、四等金壹圓也、五等金五十錢也、六等金三十錢也、七等金二十錢也、八等金十錢也、參加賞金壹圓也、

# 奇怪な—毒殺か

## 井戸の中に毒蛇

### 家人は不思議に病人が多い

【臺南電話】大正町南門小學校前方の井戸に毒蛇を空瓶に入れて之れしおき、その毒で同家の者を毒殺せんとしたものあるを發見し、届け出により、臺南署に於ては、其の犯人捜査に着手する筈であるが、目下の所、此の毒蛇を井戸の中に入れた犯人は、全く不明である

# 滿洲問題輿論の統一に積極的行動

## 先づ要路へ激勵電報を發す

### 臺南實業協和會が

【臺南電話】臺南實業協和會では、我帝國に人類の公正なる平和を擔保され、人權を尊重され、人道を擁護され、人格を尊敬され、人情を尊重され、人倫を尊敬され、人情を尊重され、人倫を尊敬され、人情を尊重され、人倫

# ラヂオ欄

## 今日の番組

J.F.A.K
十月十四日(金)
北世西門町電鍍設所、豪徳市西市

### 午前の部

【六・三〇】朝の挨拶、ラヂオ體操(第一)
【六・四〇】(第二)
【七・〇〇】(第三)
【七・一〇】(第四)
【七・二〇】(第五)
【七・三〇】(第六)
【七・四〇】(第七)
【七・五〇】(第八)
【八・〇〇】(第九)
【八・一〇】(第十)
【八・二〇】(第十一)
【八・三〇】(第十二)
【八・四〇】(第十三)
【八・五〇】(第十四)
【九・〇〇】(第十五)
【九・一〇】(第十六)
【九・二〇】(第十七)
【九・三〇】(第十八)
【九・四〇】(第十九)
【九・五〇】(第二十)
【十・〇〇】(第二十一)
【十・一〇】(第二十二)
【十・二〇】(第二十三)
【十・三〇】(第二十四)
【十・四〇】(第二十五)
【十・五〇】(第二十六)
【十一・〇〇】(第二十七)
【十一・一〇】(第二十八)
【十一・二〇】(第二十九)
【十一・三〇】(第三十)
【十一・四〇】(第三十一)
【十一・五〇】(第三十二)
【十二・〇〇】(第三十三)

### 午後の部

【〇・一〇】(第三十四)
【〇・二〇】(第三十五)
【〇・三〇】(第三十六)
【〇・四〇】(第三十七)
【〇・五〇】(第三十八)
【一・〇〇】(第三十九)
【一・一〇】(第四十)
【一・二〇】(第四十一)
【一・三〇】(第四十二)
【一・四〇】(第四十三)
【一・五〇】(第四十四)
【二・〇〇】(第四十五)
【二・一〇】(第四十六)
【二・二〇】(第四十七)
【二・三〇】(第四十八)
【二・四〇】(第四十九)
【二・五〇】(第五十)
【三・〇〇】(第五十一)
【三・一〇】(第五十二)
【三・二〇】(第五十三)
【三・三〇】(第五十四)
【三・四〇】(第五十五)
【三・五〇】(第五十六)
【四・〇〇】(第五十七)
【四・一〇】(第五十八)
【四・二〇】(第五十九)
【四・三〇】(第六十)
【四・四〇】(第六十一)
【四・五〇】(第六十二)
【五・〇〇】(第六十三)
【五・一〇】(第六十四)
【五・二〇】(第六十五)
【五・三〇】(第六十六)
【五・四〇】(第六十七)
【五・五〇】(第六十八)
【六・〇〇】(第六十九)
【六・一〇】(第七十)
【六・二〇】(第七十一)
【六・三〇】(第七十二)
【六・四〇】(第七十三)
【六・五〇】(第七十四)
【七・〇〇】(第七十五)
【七・一〇】(第七十六)
【七・二〇】(第七十七)
【七・三〇】(第七十八)
【七・四〇】(第七十九)
【七・五〇】(第八十)
【八・〇〇】(第八十一)
【八・一〇】(第八十二)
【八・二〇】(第八十三)
【八・三〇】(第八十四)
【八・四〇】(第八十五)
【八・五〇】(第八十六)
【九・〇〇】(第八十七)
【九・一〇】(第八十八)
【九・二〇】(第八十九)
【九・三〇】(第九十)
【九・四〇】(第九十一)
【九・五〇】(第九十二)
【十・〇〇】(第九十三)
【十・一〇】(第九十四)
【十・二〇】(第九十五)
【十・三〇】(第九十六)
【十・四〇】(第九十七)
【十・五〇】(第九十八)
【十一・〇〇】(第九十九)
【十一・一〇】(第百)
【十一・二〇】(第百一)
【十一・三〇】(第百二)
【十一・四〇】(第百三)
【十一・五〇】(第百四)
【十二・〇〇】(第百五)

### 夜間の部

【六・三〇】(第百六)
【六・四〇】(第百七)
【六・五〇】(第百八)
【七・〇〇】(第百九)
【七・一〇】(第百十)
【七・二〇】(第百十一)
【七・三〇】(第百十二)
【七・四〇】(第百十三)
【七・五〇】(第百十四)
【八・〇〇】(第百十五)
【八・一〇】(第百十六)
【八・二〇】(第百十七)
【八・三〇】(第百十八)
【八・四〇】(第百十九)
【八・五〇】(第百二十)
【九・〇〇】(第百二十一)
【九・一〇】(第百二十二)
【九・二〇】(第百二十三)
【九・三〇】(第百二十四)
【九・四〇】(第百二十五)
【九・五〇】(第百二十六)
【十・〇〇】(第百二十七)
【十・一〇】(第百二十八)
【十・二〇】(第百二十九)
【十・三〇】(第百三十)
【十・四〇】(第百三十一)
【十・五〇】(第百三十二)
【十一・〇〇】(第百三十三)
【十一・一〇】(第百三十四)
【十一・二〇】(第百三十五)
【十一・三〇】(第百三十六)
【十一・四〇】(第百三十七)
【十一・五〇】(第百三十八)
【十二・〇〇】(第百三十九)

## 國民の奮起を促す 國際時局講演會

(後六・三〇)

【日比谷公會堂から全日本に中繼さる】

リットン報告書發表されて、日本の時局益々重大に立ち、國民の奮起と堅き決心を要求される此の重大なる秋に當つて、國際時局講演會を日比谷公會堂から全日本に中繼されることになつた、六時三十分から七時五十分までの一時間三十分にわたる中繼である

講演者　法學博士　蠟山政道
　　岡洋右

新内　―亭北―【午後八時五十分】
お駒才三、城木屋の段
竹本七五三登

▼連續童話
西遊記物語　深谷信一
いよ〳〵今晩で三日間續いた西遊記もおしまひになります、皆さんの話の國へ參々自さましいものがありますか

▼秋の草花　野間守人

## 晝間娯樂時間　【午後零時二十分】(臺北)

▲獨唱
一、アベ・マリア　三浦環
グノーのアベ・マリア(獨逸歌詞)は餘りにもよく知られた曲であるが、原歌はバッハの平均律ピアノ曲から取つたもので、最初と終和してゐる。獨唱の歌による
二、悲歌(エレジー)　三浦環
佛蘭西のマスネーの作、二児を亡くした母によるもので、哀感深まりない曲である
三、アイアイアイ　ベルトラメリ能子
北海白狄氏の作詞に山田耕筰作曲せるもの
ゴンシャン〳〵(何處へ行く　赤い羽根の兵隊さん　兵隊さんは戰爭するやうなケツなんかつかないから)
「強くわれよ、先生ってば。
つまなかつたとも
君が胸我身に
切り組へぞ
我身に魂を
君慕ふ我心
君捨ふ我心
つれて死なん
つれなき關心
唯一人さびしく嘶きに死なん
アイアイアイ
アイアイアイ
四、悲狄沙羅　ベルトラメリ能子
北海白狄氏の作詞に山田耕筰作曲せるもの
ゴンシャン〳〵(何處へ行く　赤い羽根の兵隊さん　兵隊さんは戰爭するやうなケツなんかつかないから)
「強くわれよ、先生ってば。

▼子供の新聞
【午後二時二十分】(實況)
關屋五十二

▼子供の時間
【午後三時より】(實況)

▼秋の草花　野間守人

▼初等科　一ノ十一部　岡倉由三郎

## 英語講座
【午後三時二十五分】(東京)
會話のニュース　ハロルド・ベーマー

▼カレント・トピックス(東京)
【午後三時五十五分】
英語のニュース　ハロルド・ベーマー

## 子供の時間
【午後五時より】(實況)

▼秋の草花　野間守人

## 晝間娯樂時間　【午後零時二十分】(臺北)

▲獨唱
一、アベ・マリア　三浦環
グノーのアベ・マリア(獨逸歌詞)は餘りにもよく知られた曲であるが、原歌はバッハの平均律ピアノ曲から取つたもので、最初と終和してゐる。獨唱の歌による
二、悲歌(エレジー)　三浦環
佛蘭西のマスネーの作、二児を亡くした母によるもので、哀感深まりない曲である
三、アイアイアイ　ベルトラメリ能子
北海白狄氏の作詞に山田耕筰作曲せるもの
ゴンシャン〳〵(何處へ行く　赤い羽根の兵隊さん　兵隊さんは戰爭するやうなケツなんかつかないから)
「強くわれよ、先生ってば。

▼連續講談　今川潤
【午後四時五十分】
連續講談
第二席　田邊南龍
錦心流琵琶
【午後四時三十分】(臺北)
▲拾兒　遠藤建水
スペインの民謠でフレイル(鞭打木

▼連續講談　今川潤
【午後四時五十分】
連續講談
第二席　田邊南龍
錦心流琵琶
【午後四時三十分】(臺北)
▲拾兒　遠藤建水
スペインの民謠でフレイル(鞭打木

## 講演　(實況のみ)
【午後四時三十分】
▲州下の寄生蟲驅除運動に就て

## 講演　(實況のみ)
【午後四時三十分】
▲州下の寄生蟲驅除運動に就て

新内　―亭北―【午後八時五十分】
お駒才三、城木屋の段
竹本七五三登

## 曙光
(131)
生方敏郎作
中野修二畫

かすがひ(一)

「あらツ！」
と、町子は、わざとおどけた大聲を上げて。
「先生なの？　よくるらつしやいましたわね。長くお待せして？」
「御冗談でしよ。來ちやつた。」
美枝子は俯かう、町子に。
「行きやがいにかゝつたのよ。でも先生のいらつしやつたのは、たつた今なのよ。」
「さうね。でも、今朝は私にあんなに待たせたんだから、丁度これでプラス・マイナスだわ。」
「さういつて、町子は眼の隅へ皺りを寄せて、姉の方を向き、眞田に對して、につこりしながら。
町子の顏のあたりを指して。
「今朝、假眠から來やうと思つたんだけどもね、知つてる旅館から、電報を打つてよこしたものだから、その方へ廻らされて遂參手間取つちやつてね。」
と、言ひわけにだが、近くの見の內容に就いては、勿論言ひ寄る筈でないから、云はなかつた。
と、町子はクルリと眞田の方へ向きかはつて。
「ウソ、ウソ、この眞先生の御ることは、みんなウソよ。」
「ウソなもんかすもん、顏まではこゝにある。」
と、眞田は自分の顏を指してゐるうちに、ポケットを探つたが、入つてゐなかつた。
「それ、ごらんなさいな。ウソをおつしやるから、すぐ脫が顯れるわよ。」
「ウソぢやない、假が顯ちやんにウソをつかれて、何うするものかう。私だからこそ、ウソを御覽のだわ。私の方にはチヤーンと證が上つてゐるんだから……。」
「何んだ極まつてゐるんだから……。」
「白狀しなさいよ。」
「白狀するやうな事は一つもないわ。」
「强情にわれよ、先生ってば。

「それこそウソだ。ウソの證據はここだ。ここだ。」
と、眞田は町子の額の上の手を叩いて、元氣よく笑つた。
「いえ、本當。私の方は本當よ。何しろお姉さまが立派な證人だわ。」
「僕の姉が？」
「まあ。」
「そんな筈はない。電報を受けとつてから、僕は家を出たんだから……。」
「まだ、あんな嘘をいつてらつしやる。私もう、そんなウソつき證ひとよ。お姉さんたら、電報を見てそりや困つたやうな顏をなさつたわ。」
「何だか人をウマくかつぐよ。」
「ぢやあ、何んな電報が來たの？」
「かつぐのは、先生の方よ。」
「何んな電報か、私内密までは見なかつたけど、お姉さまは、町ちやん、急にあつたら直ぐ歸つて下さいよ、つて四通つたわ。」
眞田は、何處から來た電報なのか、まつたく想像もつかなかつたが、あんまり町子がマジメでいふので、半信半疑になつて來た。しかし、微笑して。
「何處迄、僕をかつぐつもりなんだ？」
「かつぎやしなくつてよ。先生がお願りにならないと、私がお姉さまに叱いわよ。」
と、町子の方は何處までもマジメだ。
「そいつことをいつて、こいつは僕を追ひ出す氣だなアうそして、それから、殺るさ。醫醫殺るさ。」
眞田は、わざと起ち上つてみせた。しかし、町子は矢張笑ひ出しもしなかつた。
「ほんとうに、先生、歸つてよ。失禮だけど、私お姉さまにたのまれたことをウソやないのよ。お姉さま、電報を見てお困りのやうだつたわ。」
「ちやあ、兎に角、歸らう。町ちやんが出て行けつて、いふんだから。その代り今度町ちやんが來た時、僕も追ひ出してやるぞ。」
「たん、かまわないわ。お出るわ。」
二人の言つてゐることが、果して何の程度まで本當かウソか、美枝子には分らなかつたから、彼女は何らから何と口の出しやうもなく二人の顏を見くらべてゐた。



「それこそウソだ。ウソの證據はここだ。ここだ。」
と、眞田は町子の額の上の手を叩いて、元氣よく笑つた。
「いえ、本當。私の方は本當よ。何しろお姉さまが立派な證人だわ。」
「僕の姉が？」
「まあ。」
「そんな筈はない。電報を受けとつてから、僕は家を出たんだから……。」
「まだ、あんな嘘をいつてらつしやる。私もう、そんなウソつき證ひとよ。お姉さんたら、電報を見てそりや困つたやうな顏をなさつたわ。」
「何だか人をウマくかつぐよ。」
「ぢやあ、何んな電報が來たの？」
「かつぐのは、先生の方よ。」
「何んな電報か、私内密までは見なかつたけど、お姉さまは、町ちやん、急にあつたら直ぐ歸つて下さいよ、つて四通つたわ。」
眞田は、何處から來た電報なのか、まつたく想像もつかなかつたが、あんまり町子がマジメでいふので、半信半疑になつて來た。しかし、微笑して。
「何處迄、僕をかつぐつもりなんだ？」
「かつぎやしなくつてよ。先生がお願りにならないと、私がお姉さまに叱いわよ。」
と、町子の方は何處までもマジメだ。
「そいつことをいつて、こいつは僕を追ひ出す氣だなアうそして、それから、殺るさ。醫醫殺るさ。」
眞田は、わざと起ち上つてみせた。しかし、町子は矢張笑ひ出しもしなかつた。
「ほんとうに、先生、歸つてよ。失禮だけど、私お姉さまにたのまれたことをウソやないのよ。お姉さま、電報を見てお困りのやうだつたわ。」
「ちやあ、兎に角、歸らう。町ちやんが出て行けつて、いふんだから。その代り今度町ちやんが來た時、僕も追ひ出してやるぞ。」
「たん、かまわないわ。お出るわ。」
二人の言つてゐることが、果して何の程度まで本當かウソか、美枝子には分らなかつたから、彼女は何らから何と口の出しやうもなく二人の顏を見くらべてゐた。

## 八、埴生の宿
三浦環

## 六、つばめ
ベルトラメリ能子
作詞作曲とも前田祥秀である
ふるさとの　ふるさとの
頃を忘れず　つばくらめ
ピイチクピー〳〵
チチチ　チチチ
けふは巷の　軒でうたふ
クイツイ〳〵チチチ
(以下略)

## 七、窓邊行けば
三浦環
ブレーの作曲で前田三男氏譯詞
しののめ時窓邊行けば
露におもし　仰ぐばら
口ずさめば　ひとごちねど
めざめませや　我が君よ
(以下略)

## 八、埴生の宿
三浦環
ビショップ作の英國民謠ホーム・スヰート・ホームの日本譯である

## 夜間の部

【六・三〇】國際、時間、報知、讀賣、東京、東京日比谷公會堂より中繼
【六・三〇】(第百六)
【六・四〇】(第百七)
【六・五〇】(第百八)
【七・〇〇】(第百九)
【七・一〇】(第百十)
【七・二〇】(第百十一)
【七・三〇】(第百十二)
【七・四〇】(第百十三)
【七・五〇】(第百十四)
【八・〇〇】(第百十五)
【八・一〇】(第百十六)
【八・二〇】(第百十七)
【八・三〇】(第百十八)
【八・四〇】(第百十九)
【八・五〇】(第百二十)
【九・〇〇】(第百二十一)
【九・一〇】(第百二十二)
【九・二〇】(第百二十三)
【九・三〇】(第百二十四)
【九・四〇】(第百二十五)
【九・五〇】(第百二十六)
【十・〇〇】(第百二十七)
【十・一〇】(第百二十八)
【十・二〇】(第百二十九)
【十・三〇】(第百三十)
【十・四〇】(第百三十一)
【十・五〇】(第百三十二)
【十一・〇〇】(第百三十三)
【十一・一〇】(第百三十四)
【十一・二〇】(第百三十五)
【十一・三〇】(第百三十六)
【十一・四〇】(第百三十七)
【十一・五〇】(第百三十八)
【十二・〇〇】(第百三十九)


## 結なかたち

貸家　文化村四號(渋川六郎)八八三二
八六六三二　桑原電五二　電話
貸家　大正町七號(福手朝右衛門)
八六四三二　桑原電五二　電話
貸住宅　岡山縣勝田郡(前別荘)
三四十五坪　大正町三條八ノ口　荻原
貸家　文化村四號(渋川六郎)八八三二
八六六三二　桑原電五二　電話
貸住宅　岡山縣勝田郡(前別荘)
三四十五坪　大正町三條八ノ口　荻原

婚期　赤毛すべから
花散り易く　白髪ひ切し
森北兒玉町二の七ノ　田和會
和服裁縫　見習生募集中
月謝其他手紙にて
即答名古屋町二の四六
理髪師　月四〇より
斎藤市大智町　五〇原理髪店
門生入用　月謝十五、六圓
即日入用　三井合名カフ
森北市榮町一ノ一　電話六〇番　山崎屋
女給五名　入用即日
上野五條坂　山崎屋
電話拾安讓　父は貸
上野地町一(電二一〇)　松　見

一九三〇年式新型新エセックス自動
安値にて新車を拾安讓渡す
森北兒玉町二ノ一　電話一〇〇番　森北自動車工業所



## 曙光ハリ入り速効藥

りん病に惱める男女
心配ご無用
服藥翌日の爽快さ
數日後の徹底した喜び

醫學リベールは現代治療界の驚き迄も過言ではない程の效果を內地は勿論海外諸國に到る全世界大の信用を博しつゝあり特製リベールを內服すれば理想的作用により直に腎臟より吸收され膀胱內に入つて強力殺菌作用を行ひつゝ排出する效力を有す。由つて今迄數日なり數週間なり要した治療期間より遙かに短縮され數日後には全く快氣に一轉するその驚異の效能は茲に千萬言を費すよりも數多くの服藥者の實驗談に由つて御實を知られよ。

本劑の特徴は
一、服藥後の尿は總て淡黃色に變じ排泄リベール臭を放つて排泄す。同時に膀胱へ壓さ快感を覺え、數日後にはその效が顯著に現る。
一、今迄尿道に蓄積しつゝあつた無數の細菌は悉く殺されて新鮮な尿と共に體外に排出されるから從つて淋菌は全く死滅し從つて再發の憂ひなし。
一、醫學リベールの藥效を增强に知るには必ず服用後の尿を採り專門家に檢尿を依頼されるのが最も早道で服藥後日を追つて數回に檢尿に行く事を勸む。
一、數人のりん病患者が同一便所を使用する時は必ず一度は尿道洗淨をなすべき義務ある。さりとてウンと我慢する。尿道洗淨の際うべき義務ある。

洗淨の危險
時期に誤まれた人は必ず一度は尿道洗淨をなすべきである。さりとてウンと我慢する。尿道洗淨の際うべき義務ある。

一、尿道より分泌する膿を他に尿道の奥へ押込むため膿菌は腎丸を侵し從つて睾丸炎を起して恐ろしく腫れ上り疼痛と發熱とで苦悶する。ならば醫の苦痛を救する。
二、尿道の尿道は細くされてゐるから從つて到す様に通じ。その上常に膿物を注入して一層の刺戟を與へる。それだから膿の排出が却つて以前よりも悪しくなり、甚だしきに至つては血尿を出す。
三、ゴム管やスポイトを、たとれた尿道へ押入し尿道の膿汁を吸ひ出し血をしぼる等手荒な治療の苦痛を知つてゐる。
四、數日を經ずして尿道へ注入し尿道洗淨共膀胱部へ押し込み、膀胱炎併發症、膀胱カタル等の發病を誘起す事あり。
以上五項の說明は百聞あつて效果の說明なるものであるから委しくは書を求む。

廣告
リベールを飲むひとすると同時に體のあぶら汗物臭を口先に感ずるひとすると同時に、決して驚かされたならば第二回目の藥は本舖へ直接申込まれ。

發賣元　竹村製劑所
發賣所　竹村幸次郎
大阪市東區南久太郎町二丁目
發賣元　五日　二回　十三日　五回
發賣所　七日　三回　廿七日　十回

# MITSUWA SOAP

顏面と肌膚と毛髮の
◎ミツワ石鹼

石鹼の泡沫に粘りを含んで、湯水にさらりと落ちず、何時迄も肌膚がヌラ〳〵するのは、後に石鹼分を殘すからで、またガサつくのは作用が强いからで、共に肌膚を整へるに不適當であります。殊に白粉の乘悪く、美しい化粧をする妨げとなります。

原料は精選され、配合は巧妙を極め特殊の操作を以て精製されてゐる爲特に邦人の肌膚毛髮の洗滌に適合す
程良く溶けて
石鹼分を殘さぬ
◎ミツワ石鹼
作用緩和にして
良く肌膚を整ふ
經濟第一
溶過ぎ溶崩れる憂ひなく
溶心地よく最終迄使へて
中途に溶崩れず二倍保つ
白粉を附けて
入浴利用の忍び化粧
白粉を見せぬ

本舖　東京◎丸見屋商店

J.17

# 特殊資金の全容銀行の預金引出し調べ

# 砂糖消費税の不備から缺陥

# 不備と缺陥

# 大蔵当局もこれを認む

# 砂糖消費税の不備から缺陥

# 特殊資金の全容銀行の預金引出し調べ

# 不備と缺陥

# 大蔵当局もこれを認む

# 政局と兵権

# 肥料購入の遅延

# 米穀調査打合会

# 十一日臨時閣議に開催

# 督府米穀主催

# 米穀調査打合会

# 十一日臨時閣議に開催

# 肥料購入の遅延

# 各府県の

# 政局と兵権

# 大連―本島間の

# 直航開設と影響

# 近畿地方の

# 大連―本島間の

# 直航開設と影響

# 各府県の

# 肥料購入の遅延

# 督府米穀主催

# 米穀調査打合会

# 十一日臨時閣議に開催

## ミス・アメリカの榮冠は誰に？……

ニュージアター劇で開催されたミス・アメリカの榮冠は誰に？右からミス・ニューヨーク、ミス・イリノイ、ミス・ケンタッキー、ミス・デラウエア、ミス・ニューグランド、ミス・ジョージアの競演ぢや

# 南洋工藝品の印象（下）

## ―臺灣南洋博を終へて―

殖產局商工課　鹿又光雄

### 芝居は……

主客關係は常に客の書圖樂に從つて働かされるもので、從つて芝居の場合でも、從長な樂のメロデイは望ましくない。又劇の進行を妨げ、或は觀客の注意を散漫にするが如き音樂を避し、劇の主人公たる人物の感興を喚起せしむる樂曲を用ふるを適當とする。

### 金時繪……

を施して素地の部分に光彩を添へ、何んとも云へない新感味を出してゐる。

### 曲線美……

に取扱つたもので、從く十數個なものであるが、その着色の所在は、單純な色を充分效果的に見せ、最も美麗な形を能く表現してゐる。

### 濃厚な……

着色を施したもので、我國の部畫に殆ど無い感味を加へた如き感じであり、見る人の感情を見出せない代物であるが、一度之を手に持ち之を動かすとき、調和として內臟する觸覺に對しては、從者は相當に興味を感じるであらう。

### 全體的……

な感じを生かしてゐるところ、彼等の觸覺は感覺の鋭さが充分に味はれる。又シヤムの部は紙の張子に着色したものであり、觸子感をなし、從く簡單な取扱ひで、土俗のものであるが、その色の取扱ひは、土俗のものに一歩を讓らざるを得ない。人形細工にかけては、ペリー島の木彫及瓜哇クラクヤの土人形が特に優れ、前者は從く宗教的關係に於て製出されたものらしく、後者は觀賞化に富んだものであり、觀賞に上加へられた觀感は、殆ど充分に近いものである。古代畫に比べて現代のものは、觀感時代的な特徴に缺ける點が、何れにもせよ、自由であり、而も充分に時代の特徴を認めから云へば、我國の鄉土人形同樣物では、獨子の賣に加工したる點がある。之ばシエード、スタンド共に用い大きところであらう。又ジヤワ島では先づジョクジヤの水牛皮透し彫の繪工品である。緣、扇子、團扇或はラングシエード等、何れも色に施された水牛透明な水牛皮にワイヤンクリの陰を巧妙に取り入れ全面に微密な透し彫と金泥の附着を施して、陰陽的な效果を充分に收めてゐる點は、從く土人製作の隨ひを感じてゐる點がある。同樣に觀感は水牛皮細工ペーパーナイフも、良くワイヤンクリの意匠を利用して土俗的な感じを出し、手腕に……

### 金時繪……

を施して素地の部分に光彩を添へ、何んとも云へない新感味を出してゐる。

### 新刊紹介

**少年倶樂部**（十一月號）

◇……少女雜誌で大體一部數を獲得してゐる少女倶樂部の十一月號を見るにその內容は從來と變りなく、全體的に見て感じが上品な上に明るい一の親子が現れてゐる、殺々面白くゆくうちこの雜誌の性質さう云ふ事さが分つて來る。

◇……特別附錄の「飛行機」を打出す「カタパルト」の模型がついてゐるが、これは素晴らしい人氣を呼ぶだらう、其以來、子供の陸海軍への關心が從行機への關心から推して、これが氣に入らう筈は、まづ千に一つもなからう

**少女倶樂部**（十一月號）

◇……少女雜誌で大體一部數を獲得してゐる少女倶樂部の十一月號を見るにその內容は從來と變りなく、全體的に見て感じが上品な上に明るい一の親子が現れてゐる、殺々面白くゆくうちこの雜誌の性質さう云ふ事さが分つて來る。

◇特別附錄の「飛行機」を打出す「カタパルト」の模型がついてゐるが、これは素晴らしい人氣を呼ぶだらう、其以來、子供の陸海軍への關心が從行機への關心から推して、これが氣に入らう筈は、まづ千に一つもなからう

**新刊紹介**

**少年倶樂部**（十一月號）

◇新年號日本には、表面が秋でも、此頃漸なものが流行を極めるが、少年倶樂部も十一月號には「帝國陸軍號」と銘打つて斷然優いところを見せてゐる

◇特別附錄に飛行機を打出す「カタパルト」の模型がついてゐるが、これは素晴らしい人氣を呼ぶだらう、其以來、子供の陸海軍への關心が從行機への關心から推して、これが氣に入らう筈は、まづ千に一つもなからう

# 來議會通過確實の 婦人辯護士法案

## 本案通過に期待する

### 裁判所側と檢事局側

殖產局商工課　鹿又光雄

長らく燃えてゐた……

**辯護士法**……既に昨秋過日の司法省會議に於て決定を見、今度の通常議會に提案されることとなつたが今まで出る出ると言つて出なかつた婦人辯護士法が今度こそ……

**婦人辯護士**……に大賛成であるが、從つて辯護士會も之に對しては從來ゴタゴタしてゐたが今度は滯く確定したのである

**婦人辯護**……に大賛成であるが、從つて辯護士會も之に對しては從來ゴタゴタしてゐたが今度は滯く確定したのである

**創除に決**……した、それが當然と云ふ事に落着いたものであり、前者は從く宗教的關係に於て從來女子は男子の奴隸的な從屬的な地位に置かれてゐたのであり、前者は從く宗教的關係に於て從來女子は男子の奴隸的な從屬的な地位に置かれてゐたのであり、

**婦人辯護士**……に大賛成であるが、從つて辯護士會も之に對しては從來ゴタゴタしてゐたが今度は滯く確定したのである

**婦人辯護士**……に大賛成であるが、從つて辯護士會も之に對しては從來ゴタゴタしてゐたが今度は滯く確定したのである

**若返り**……をなさうとも從く

**士人の**……

**華僑の**……

**士人の**……

**若返り**……をなさうとも從く

**華僑の**……

**若返り**……をなさうとも從く

**士人の**……

# 大關山事件の善後措置

## 日本官憲に對する挑戰行動の第一矢

### 警務局膺懲を決意

あらさればプヌン族に對する理番の治績は到底望むべからず、發砲當時も意を決し蕃地の現狀に鑑み已むを得ざるの措置に出でたるものと認めらるるに付ては、今後も此の方針を以て進むの外なく、從來の如く姑息の手段を以て臨むが如きは却て蕃人の侮りを招き、蕃地の治安を攪亂するの虞あるを以て、警務局にては今回の事件を以て蕃人の挑戰行動の第一矢と見做し、此の際徹底的に膺懲の方針を以て臨むの決意なりと

### 善後處置

カノバンを制壓し信賞必罰の實を示すに

### 皇太后陛下帝展に行啓

二十一日午前中に

【東京十三日發電通】皇太后陛下には二十一日午前帝國美術院に行啓遊ばし、日本畫、洋畫、彫刻、工藝美術の各部門に亙り觀覽あらせらるる筈なり

### 自動車の一齊休車

東京で

【東京十三日發電通】東京市內一萬八千臺の營業用自動車を統制する東京自動車營業協會は來る廿四日午前六時より內外石油六社に對しガソリン値下げを求め、スタンダード石油に對し不買同盟を繼續してゐるが、兩者の關係が圓滿に立つてから解決の曙光が見たが從二六社側の態度は依然強硬で十三日後四時に至るも協定成立に至らなかつたため協會は左記の處置に出でた

一、鐵管竊取事件

本年五月下旬ニューヒル附近帶人は基隆市仁愛區川端町十五ノ七の二十九本を竊取しタルに五寸乃至三尺に切斷して鉄屑製造を企て他にこれを賣渡したり

二、硝石押收の反感

大正十年清水警部補（後部長）が發見したる新竹州北埔庄內の硝石押收に關し新竹州當局に於ては當時の關係者に對し嚴重調査の上で關係者に相當の處分を爲したり

三、貸與銃の銃身交換

去る六月十八日「タクラホマン」より貸與せられたる竹田警正銃の銃身を交換したり

### 事件前の番情

新武路發電報の着くや直ちに警務局長を始め關係課長は勿論、警察官練習所教官等十五名の幹部は非常召集に應じ、警務局長室に參集し、事件の重大性に鑑み、警務局長は直ちに總督府に出頭して兒玉總督に報告し、總督は直ちに閣議を開き

# 漢文臺灣日新報

## 中國意見書
## 羅文幹氏携赴漢口
### 仰蔣氏最後斷案

十二日上海電。羅文幹氏、提出別外交委員合所作對於停戰之意見書、已於今朝離滬赴漢口、仰蔣介石氏最後的裁斷。其內容如左。

一、中國政府。宣言滿洲事變責任。全在日本政府。

二、滿洲事變之解決方法。全部不可委諸聯盟規約。不戰條約。九國條約。

三、滿洲問題中國領土。故中國欲保持土權。絕對不使外國兵駐屯。

## 聯盟總會本會議
## 欲使經濟會議成功
### 要望努力之決議可決

十二日倫敦電。國際聯盟總會本會議。十二日以滿場一致。欲使世界經濟會議成功。要望各國努力。可決左記決議。對各國政府。要急謀關稅之。

世界經濟危機。於貿易及財政兩領域。若各國有效敏速協力。不得解決。本總會於近將在倫敦開會之世界經濟會議緊急任務。乃在迅速除去貿易障害貨幣制度之不安定。且同復信用之各種的方法探究

## 滿洲里官相明瞭
### 李際備隊員著昂談

十二日齊々哈爾電。事變勃發後。最初滿洲里脫出者。急赴新京本部之同地警備隊員今旭東。智馮死。十二日著昂站後。所談如左。

一、去二十七日護路軍副司令吳志林氏。陽來會議。席上逮捕中將部警備隊長其他分隊長。幽禁於領事館內。一方派部下。欲解除警備隊武裝。小原大尉誠重抗議。因逮捕同大尉。兩軍衝突。警備隊四名戰死。他百二十名武裝解除。收容於特別警察監獄。大在留邦人。亦被逮捕監禁。全等脫危口。滿線護路軍各駐勤領繁。然係密行。詳細不明。

二、滿洲里駐在日本軍司令官。接到奉天總領事之電報。滿洲里駐在日本軍隊。速撤退滿洲里。

三、滿洲里駐在日本軍隊。速撤退滿洲里。

## 謝介石氏抵奉天
### 訪武藤全權

十二日奉天電。滿鐵執政代理謝介石氏。十二日午後一時半抵奉天。四訪武藤全權。談渡日之意。

## 奉呈於陛下
### 執政親書
### 宋版古書携行

十二日奉天電。答謝使謝介石氏。携執政親書。欲奉呈聖上陛下。貯於外幅一尺五寸。縱二尺之桐箱乃宋版古書。此乃清朝滅亡之際。宜統帝潛遁。不離身邊。鄭重所藏者云。

## 馮涵清氏
### 訪武藤全權

十二日奉天電。治外法權問題。欲與日本當路之人交換意見。司法總長馮涵清氏渡日。十二日午後二時。訪武藤全權。交換重要意見。

## 地方官
### 異動發令

十三日東京電。長野縣內

## 共產黨於六大都市
## 欲使勞働者總罷業
### 計畫事實判明

十三日東京電。警視廳。對於今朝著一檢舉逃及結果知共產黨。乘東京市縣案從業員千六百名大整理之機。今月末欲使起市電爭議。使六大都市交通勞働者總罷業。此事實確證。

## 岡山中國合同銀行
## 襲擊計畫判明
### 岡山警戒嚴重

十三日東京電。川崎第百支店襲擊成功。赤色强盜團更欲調達共產資金。計畫第二次銀行襲擊。事已判明。今朝、中村、西城三名。於六日犯行後。與當員二、三名。潛伏新橋線本部協議。先擬逃稱山村某。選定岡山市為犯行場所。決定同市一流銀行中國合同銀行。山村於八日夜。携帶槍五六挺西下。途中至京都。大阪。與同志一、二名誌。十二日夜警視廳。以暗號電報。託岡山縣警察部至急活動。岡山金縣下並岡山市內。施警戒網。中國合同銀行內。亦配置私服警官多數。以編萬一。

## 臺南市區改正
### 囑諸熟悉者
### 評定買收價格

臺南市內區改正。因時局與經濟不振。暫於本年度內施行部分。係山花園町經臺南醫院前。轉蓬町而至歸仁之道路。對於是處土地之買收評價。已由市當局。託辛西淮。山崎。藤木。葉茂林。諸熟悉市內之地價者。定十五日下午二時。集市役所。評定其價格。則將照此以買收。舉行後。直則著手。興工云云。

## 時評

○

關關鳴雎。自初欲以衆對一。解決日華兩國之紛爭。圖察本邦輿論。一致强硬。團結之力。與論之功。不亦偉歟。

○

上下之協。民心之和。自古所尚。釋氏謂五指不及一拳。信然。凡本邦合法。合理要望之事。不如是。不成矣。

○

陸軍當路對俄對滿方策特。

## 共產黨於六大都市
## 欲使勞働者總罷業
### 計畫事實判明

十三日東京電。警視廳。對於今朝著一檢舉逃及結果知共產黨。乘東京市縣案從業員千六百名大整理之機。今月末欲使起市電爭議。使六大都市交通勞働者總罷業。此事實確證。

## 岡山中國合同銀行
## 襲擊計畫判明
### 岡山警戒嚴重

十三日東京電。川崎第百支店襲擊成功。赤色强盜團更欲調達共產資金。計畫第二次銀行襲擊。事已判明。今朝、中村、西城三名。於六日犯行後。與當員二、三名。潛伏新橋線本部協議。先擬逃稱山村某。選定岡山市為犯行場所。決定同市一流銀行中國合同銀行。山村於八日夜。携帶槍五六挺西下。途中至京都。大阪。與同志一、二名誌。十二日夜警視廳。以暗號電報。託岡山縣警察部至急活動。岡山金縣下並岡山市內。施警戒網。中國合同銀行內。亦配置私服警官多數。以編萬一。

## 臺南市區改正
### 囑諸熟悉者
### 評定買收價格

臺南市內區改正。因時局與經濟不振。暫於本年度內施行部分。係山花園町經臺南醫院前。轉蓬町而至歸仁之道路。對於是處土地之買收評價。已由市當局。託辛西淮。山崎。藤木。葉茂林。諸熟悉市內之地價者。定十五日下午二時。集市役所。評定其價格。則將照此以買收。舉行後。直則著手。興工云云。

## 時評

○

關關鳴雎。自初欲以衆對一。解決日華兩國之紛爭。圖察本邦輿論。一致强硬。團結之力。與論之功。不亦偉歟。

○

上下之協。民心之和。自古所尚。釋氏謂五指不及一拳。信然。凡本邦合法。合理要望之事。不如是。不成矣。

○

陸軍當路對俄對滿方策特。

## 共產黨於六大都市
## 欲使勞働者總罷業
### 計畫事實判明

十三日東京電。警視廳。對於今朝著一檢舉逃及結果知共產黨。乘東京市縣案從業員千六百名大整理之機。今月末欲使起市電爭議。使六大都市交通勞働者總罷業。此事實確證。

## 岡山中國合同銀行
## 襲擊計畫判明
### 岡山警戒嚴重

十三日東京電。川崎第百支店襲擊成功。赤色强盜團更欲調達共產資金。計畫第二次銀行襲擊。事已判明。今朝、中村、西城三名。於六日犯行後。與當員二、三名。潛伏新橋線本部協議。先擬逃稱山村某。選定岡山市為犯行場所。決定同市一流銀行中國合同銀行。山村於八日夜。携帶槍五六挺西下。途中至京都。大阪。與同志一、二名誌。十二日夜警視廳。以暗號電報。託岡山縣警察部至急活動。岡山金縣下並岡山市內。施警戒網。中國合同銀行內。亦配置私服警官多數。以編萬一。

## 漢文臺灣日新報

## 中國意見書
## 羅文幹氏携赴漢口
### 仰蔣氏最後斷案

十二日上海電。羅文幹氏、提出別外交委員合所作對於停戰之意見書、已於今朝離滬赴漢口。今明日中赴京。仰蔣介石氏最後的裁斷。其內容如左。

一、中國政府。宣言滿洲事變責任。全在日本政府。

二、滿洲事變之解決方法。全部不可委諸聯盟規約。不戰條約。九國條約。

三、滿洲問題中國領土。故中國欲保持土權。絕對不使外國兵駐屯。

## 聯盟總會本會議
## 欲使經濟會議成功
### 要望努力之決議可決

十二日倫敦電。國際聯盟總會本會議。十二日以滿場一致。欲使世界經濟會議成功。要望各國努力。可決左記決議。對各國政府。緊急謀關稅之。

世界經濟危機。於貿易及財政兩領域。若各國有效敏速協力。不得解決。本總會於近將在倫敦開會之世界經濟會議緊急任務。乃在迅速除去貿易障害貨幣制度之不安定。且同復信用之各種的方法探究

## 滿洲里官相明瞭
### 李際備隊員著昂談

十二日齊々哈爾電。事變勃發後。最初滿洲里脫出者。急赴新京本部之同地警備隊員今旭東。智馮死。十二日著昂站後。所談如左。

一、去二十七日護路軍副司令吳志林氏。陽來會議。席上逮捕中將部警備隊長其他分隊長。幽禁於領事館內。一方派部下。欲解除警備隊武裝。小原大尉誠重抗議。因逮捕同大尉。兩軍衝突。警備隊四名戰死。他百二十名武裝解除。收容於特別警察監獄。大在留邦人。亦被逮捕監禁。全等脫危口。滿線護路軍各駐勤領繁。然係密行。詳細不明。

二、滿洲里駐在日本軍司令官。接到奉天總領事之電報。滿洲里駐在日本軍隊。速撤退滿洲里。

三、滿洲里駐在日本軍隊。速撤退滿洲里。

## 謝介石氏抵奉天
### 訪武藤全權

十二日奉天電。滿鐵執政代理謝介石氏。十二日午後一時半抵奉天。四訪武藤全權。談渡日之意。

## 奉呈於陛下
### 執政親書
### 宋版古書携行

十二日奉天電。答謝使謝介石氏。携執政親書。欲奉呈聖上陛下。貯於外幅一尺五寸。縱二尺之桐箱乃宋版古書。此乃清朝滅亡之際。宜統帝潛遁。不離身邊。鄭重所藏者云。

## 馮涵清氏
### 訪武藤全權

十二日奉天電。治外法權問題。欲與日本當路之人交換意見。司法總長馮涵清氏渡日。十二日午後二時。訪武藤全權。交換重要意見。

## 地方官
### 異動發令

十三日東京電。長野縣內

## 臺灣米穀自力統制
## 擬組臺灣利販信購
### 樹林黃純青氏正奔走中

日前為米穀統制委員上京氏談云。臺灣米此數年來價格慘落。破生產界。及市當局。亦講究救濟方法。日該組合員。每日赴永產會事務所。諮其窮狀。希設應急救濟策。現由當局考究中。其救濟似略告五十日間。傾注全力。反對運動經過。及講究代為手續。極力擁護我等種々方法。莫不能奏效。次一同討論有攻擊船會社之態之大生命保險會社代理店廢等。結局決定如左。

一、協會對新契約者。先代繳納第一回保險料。自翌年一月起二年間。對每月薪金分攤扣除。

一、第二回以後保險料。納期齊納會社。

一、為特殊代理店。而對會員契約為代理店。

一、為特殊代理店。對會社所受手料。充本協會基金。(以下省略)

## 臺灣米穀自力統制
## 擬組臺灣利販信購
### 樹林黃純青氏正奔走中

日前為米穀統制委員上京氏談云。臺灣米此數年來價格慘落。破生產界。及市當局。亦講究救濟方法。日該組合員。每日赴永產會事務所。諮其窮狀。希設應急救濟策。現由當局考究中。其救濟似略告五十日間。傾注全力。反對運動經過。及講究代為手續。極力擁護我等種々方法。莫不能奏效。次一同討論有攻擊船會社之態之大生命保險會社代理店廢等。結局決定如左。

一、協會對新契約者。先代繳納第一回保險料。自翌年一月起二年間。對每月薪金分攤扣除。

一、第二回以後保險料。納期齊納會社。

一、為特殊代理店。而對會員契約為代理店。

一、為特殊代理店。對會社所受手料。充本協會基金。(以下省略)

## 臺灣米穀自力統制
## 擬組臺灣利販信購
### 樹林黃純青氏正奔走中

日前為米穀統制委員上京氏談云。臺灣米此數年來價格慘落。破生產界。及市當局。亦講究救濟方法。日該組合員。每日赴永產會事務所。諮其窮狀。希設應急救濟策。現由當局考究中。其救濟似略告五十日間。傾注全力。反對運動經過。及講究代為手續。極力擁護我等種々方法。莫不能奏效。次一同討論有攻擊船會社之態之大生命保險會社代理店廢等。結局決定如左。

一、協會對新契約者。先代繳納第一回保險料。自翌年一月起二年間。對每月薪金分攤扣除。

一、第二回以後保險料。納期齊納會社。

一、為特殊代理店。而對會員契約為代理店。

一、為特殊代理店。對會社所受手料。充本協會基金。(以下省略)

## 臺灣米穀自力統制
## 擬組臺灣利販信購
### 樹林黃純青氏正奔走中

日前為米穀統制委員上京氏談云。臺灣米此數年來價格慘落。破生產界。及市當局。亦講究救濟方法。日該組合員。每日赴永產會事務所。諮其窮狀。希設應急救濟策。現由當局考究中。其救濟似略告五十日間。傾注全力。反對運動經過。及講究代為手續。極力擁護我等種々方法。莫不能奏效。次一同討論有攻擊船會社之態之大生命保險會社代理店廢等。結局決定如左。

一、協會對新契約者。先代繳納第一回保險料。自翌年一月起二年間。對每月薪金分攤扣除。

一、第二回以後保險料。納期齊納會社。

一、為特殊代理店。而對會員契約為代理店。

一、為特殊代理店。對會社所受手料。充本協會基金。(以下省略)